

平成30年度予算

予算総額175億6,740万円

一般会計 110億8,000万円
 特別会計 64億8,740万円
 前年度増減額 26億40万円 (増減率 17.4%)

【概要】大浦谷の火山活動も落ち着きを見せ、年間を通して多くの観光客にお越しいただきました。中でも訪日外国人客は日を追うごとに増加しており、国際観光地箱根の復活を実感しています。

このような中、改めて経費の削減を進めながら、真に必要な住民サービスを追求するとともに、早急に取り組むべき課題に対して、重点的に財源を配分するように努めました。

特に本年度は、固定資産税の超過課税を実施して3年目、その期限を迎える年になります。更なる行財政改革と歳入確保策の検討を進めるとともに、職員一人ひとりが町の現状と今後の見通しをしっかりと認識し、責任を持って将来に向けた持続可能な町政運営を担っていく決意で予算編成を行いました。

【歳入・歳出】 平成30年度一般会計予算の総額は110億8,000万円となり、前年度より20億8,200万円の増額となりました。

歳入・歳出

【歳入】 町税は、固定資産税が3年に1度の評価替えであることから、土地・家屋ともに前年度比9,980万円の減になる一方、町民税は観光客数の回復により前年度比9,430万円の増となります。町債は中学校校舎の整備など大型工事を予定しているため、前年度比15億4,920万円の増になります。

【歳出】 「やすらぎとおもてなしのあふれる町 箱根」を目指するため、4つの重点施策に組織横断的に取り組みます。「防災力の強化」として、大地震や火山活動などの大規模な災害に備え、防災行政無線の整備を行います。「若者定住の促進」として、お試し居住トリアルステイの実施、空き家活用などによる定住化施策を行います。

公債費 7億8,900万円
 (前年度増減額 △1億200万円)

町債(借入金)を返済するお金

土木費 4億5,482万円
 (前年度増減額 △3億4,428万円)

道路、公園整備、住宅管理などに使うお金

- ・地籍調査事業
- ・芦ノ湖周辺環境整備事業
- ・強羅駅周辺、仙石原交差点周辺まちづくり事業

観光費 5億2,617万円
 (前年度増減額 4,961万円)

町の観光宣伝として開催する事業や産業振興などに使うお金

- ・国際観光プロモーション実施事業
- ・箱根DMO支援事業
- ・LED街灯整備事業

議会費 1億2,334万円
 (前年度増減額 260万円)

議会運営のために使うお金

- ・姉妹都市親善交流事業

農林水産業費 1億4,724万円
 (前年度増減額 3,220万円)

農林業や水産業の振興のために使うお金

- ・有害鳥獣対策事業
- ・林地台帳整備事業

その他 3億4,083万円
 (前年度増減額 3億2,080万円)

諸支出金、災害復旧費、予備費など

- ・公共下水道事業会計補助金

総務費 20億2,134万円
 (前年度増減額 2億7,798万円)

町の事務・庁舎管理、選挙など町の総括的な事務に使ったお金

- ・庁舎設備等整備事業
- ・ふるさと納税促進事業
- ・防災行政無線整備事業

民生費 16億6,998万円
 (前年度増減額 567万円)

福祉サービス、各種医療の助成など福祉全般に使ったお金

- ・家族介護教室開催事業
- ・子どものための図書推進事業
- ・認定こども園整備事業

衛生費 11億8,091万円
 (前年度増減額 △1億3,551万円)

保健衛生、ごみ処理、環境保全など衛生的な生活のために使うお金

- ・斎場事務広域化推進事業
- ・生活習慣病予防推進事業
- ・ごみ処理広域化推進事業

消防費 10億1,595万円
 (前年度増減額 5,827万円)

消防・救急活動、防火水槽や消火栓の設置などに使うお金

- ・消防操法大会出場事業
- ・消防車両整備事業
- ・湯本分署建設事業

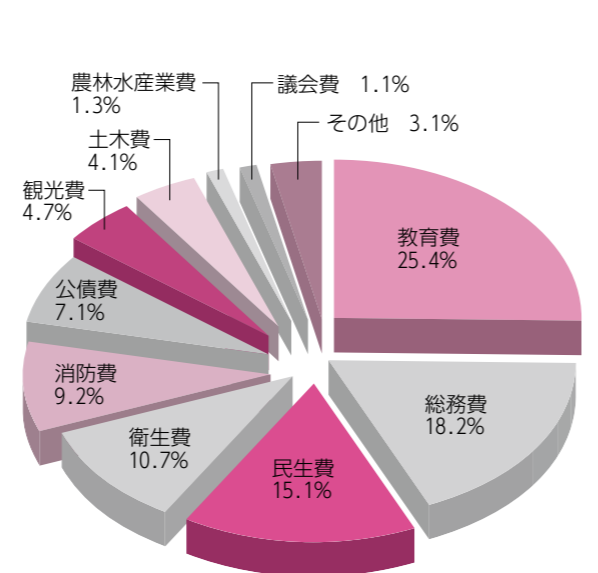
教育費 28億1,043万円
 (前年度増減額 19億1,666万円)

幼稚園、小・中学校の運営、文化財保護など教育全般に使ったお金

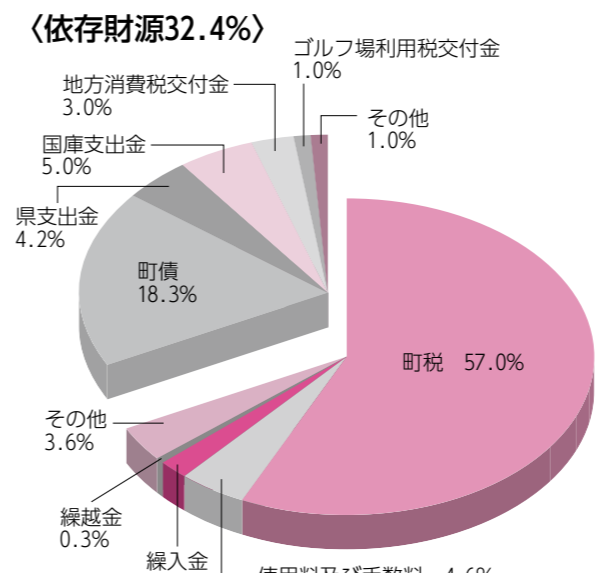
- ・箱根土曜塾運営事業
- ・小・中学校校舎等整備事業
- ・箱根関所設置400年記念事業

「健康生活の推進」として、未病改善による健康寿命の延伸に積極的に取り組むなど、少子高齢社会に対応した協働のまちづくりを目指します。「ブランド力の強化」として、国際観光プロモーション実施事業や箱根DMOの補助支援などを行うことで、さらに活気あふれるまちづくりに繋げていきます。

歳出



歳入



●町税の内訳

税目	予算額	前年度増減額
固定資産税	43億5,870万円	△9,980万円
町民税	10億5,720万円	9,430万円
入湯税	7億510万円	570万円
町たばこ税	1億6,770万円	70万円
軽自動車税	2,730万円	210万円
合計	63億1,600万円	300万円

自主財源 (67.6%)	予算額	前年度増減額
町税 (町に納められる税金)	63億1,600万円	300万円
使用料及び手数料 (施設の利用料や住民票などの交付手数料として支払われるお金)	5億1,340万円	1億1,055万円
繰入金 (基金の取り崩しにより繰り入れるお金)	2億2,279万円	2億37万円
繰越金 (前年度から繰り越されるお金)	3,000万円	△7,000万円
その他 (財産収入、分担金および負担金、寄付金など)	4億394万円	△1,265万円

依存財源 (32.4%)	予算額	前年度増減額
町債 (国や県、金融機関から借り入れるお金)	20億3,210万円	15億4,920万円
県支出金 (事業など特定の目的の財源として県から交付されるお金)	4億6,976万円	6,371万円
国庫支出金 (事業など特定の目的の財源として国から交付されるお金)	5億5,371万円	2億5,802万円
地方消費税交付金 (地方消費税として徴収し、町の人口割合などに応じて国から交付されるお金)	3億1,790万円	△2,010万円
ゴルフ場利用税交付金 (県に納められたゴルフ場利用税からゴルフ場のある町に交付されるお金)	1億1,000万円	0円
その他 (地方譲与税、自動車取得税交付金、地方特例交付金など)	1億1,040万円	△10万円

会計名	当初予算額	前年度増減額	増減率
特別会計	34億1,620万円	△3億 57万円	△8.2%
国民健康保険	15億6,500万円	△3億6,800万円	△19%
後期高齢者医療	3億3,810万円	△300万円	△0.9%
介護保険	13億1,100万円	5,300万円	4.2%
4財産区	420万円	△60万円	△12.5%
温泉	1億7,390万円	1,590万円	10.1%
育英奨学金	2,400万円	△300万円	△11.1%
水道事業会計	6億7,630万円	1,120万円	1.7%
公共下水道事業会計	23億9,490万円	8億1,290万円	51.4%

特別会計予算
 64億8,740万円
 前年度増減額 5億1,840万円
 増減率 8.7%

【特別会計】 町の予算には、一般会計とは別に「国民健康保険ほか8つの特別会計」と「水道事業会計」「公共下水道事業会計」があります。これらは特定の事業を行う場合や、町特有の仕事を果たすために、一般会計と区別して設けられており、特定の収入を特定の支出に充てるなど、それぞれの会計内でやりくりしています。